



小金井 月刊 こうみんかん

2013.2/1 No.418

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！起こせます！
あなたへの想いを！
見つけよう！僕・私。
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

第50回東京都公民館研究大会報告



去る平成24年12月9日（日）に東村山市中央公民館で開催され、市民や社会教育関係者併せて254人が参加しました。今回は記念すべき第50回の研究大会として、「公民館は地域の絆！」をメインテーマに実施しました。

公民館は、多くの市民のための生涯学習の場として、また、様々な芸術・伝統文化、社会教育に関する団体や教養グループ、趣味サークルなどが自主活動する拠点としての役割を担っています。

また、一昨年3月11日に発生した東日本大震災後、被災地の公民館は避難所として、地域のなかで非常に重要な役割を果たしてきました。

このように公民館が地域において、学習の拠点、人づくりの拠点としての機能が求められ、『人と人とを結ぶ絆』となりうることを検証していきました。

午前中は東北大学大学院教育学研究科准教授の石井山竜平さんがメインテーマに沿った「東日本大震災と社会教育」「三本塚とのこれまで／これからへの期待」という基調講演を行いました。午後は3つの課題別集會に分かれ、各集會では事例報告と助言を交えながら、参加者が活発な討議を行い、有意義な大会となりました。

また、12月18日（火）小金井市公民館本館にて、小金井市から研究大会に参加した人たちが集まり、研究大会報告会が開催されました。基調講演の感想と各々が参加した課題別集會について報告し合うことで、内容を共有し、今後の自分達の活動に活かしていくことを趣旨としています。報告会の内容の概略を以下にまとめました。

基調講演の感想

- ・震災があったからかもしれませんが、公民館が地元根付いていることを実感しました。
- ・小金井市のような災害が少ない地域に住んでいる者にとって、災害が実際に起こった地域とは公民館に対する見方に差があるのではないかと思います。

第一課題別集會

「3.11東日本大震災以後の公民館の役割～地域・きずな～」

東日本大震災で公民館は何ができるのかということと自治会と公民館の役割について考察しました。

公民館は地域、施設によって対応が異なると思いますが、いざという時どこまで公民館が対応できるようにするか、日頃からの心掛けが必要です。

そのため公民館運営審議会委員、企画実行委員、職員が立場を理解してうまく連携して対応できるようにすることが大切だとの意見がありました。

第二課題別集會

「公民館との出会いから地域の活動へ」

公民館事業の学習を通して参加者同士が自主サークルを立ち上げ、地域住民の活動の広がりときずなづくりに貢献している事例報告がありました。

公民館講座は地域力を活かせる生活課題を問題定義して取り上げることが理想で公民館活動の広報と若者参加が必要であるという意見がありました。

広報として職員が町内会・児童館のイベントに参加するのも良いのではとの提案がありました。

助言者は財政難であるが公民館の周りから地域の課題に目を向けて長期的な視野で活動することで街づくりに貢献できるのではないかとということでした。

第三課題別集會

「公民館はじめての一步」

公民館職員と公民館運営審議会会長の事例報告がありました。お話のあった公民館では職員の人事異動が激しく、3年努めた職員も社会教育主事もない状況で公民館運営は難しいとのことでした。

公民館運営審議会委員という立場では、足を運んで市民から話しを聞いていますとのことでした。

これに基づいて助言者が公民館とは何かということと地域、職員、公民館運営審議会委員のパイプをどのようにしたら良いか、若い人にどのようにして公民館に来てもらうかという課題でした。

若い人に公民館に来てもらうには、自主講座を実施するとか講座の実施日時等を考えてみると良いのではとの意見がありました。

また、仲間づくりが地域に対する一つの大きなキーワードになるのではとの意見がありました。

市民の要望を取り入れた講座を作るには地域に対する貢献が必要で、そのためには職員が公民館の講座についての勉強をしてほしいとの助言がありました。

募集

男女共同参画講座 「輝ける熟年を過ごすために」 本町分館

定年後をどう過ごせば第二の人生を輝かすことができるのでしょうか。家族や社会との関わりから団塊・熟年世代ができることを見つけてみませんか。

回	日程	内容
1	2/18(月)	熟年と家族
2	2/25(月)	熟年と社会

時間はいずれも午後2時～4時(全2回)

ところ 公民館本町分館
講師 宮本まき子さん(家族問題評論家)
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 30人(申込順)
申込 2月4日(月)から、電話または直接、公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。

募集

音楽鑑賞のつどい 「スプリングコンサート」 貫井南分館

チェロの音色に誘われて、フルートに音ささやかれ、ソプラノの声もかろやかに、ピアノのリードで呼び込まれ、さあ、このひと時を楽しみましょう。



とき 3月3日(日)午後1時30分～3時30分
ところ 公民館貫井南分館 学習室AB
出演 成田美緒(フルート)
 今川恵美子・河津彩子(ピアノ)
 竹森真子(ソプラノ) 酒井桃子(チェロ)
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 50人(申込順)
申込 2月18日(月)午前9時より、電話または直接、公民館貫井南分館まで(☎042-383-1168)へ。

「月刊こうみんかん」

市民編集委員の募集のお知らせ

公民館では、事業の企画や発進を市民参加で実施しています。

「月刊こうみんかん」の編集会議は、現在、市民編集員4名、職員6名の10名で行っています。

募集

成人学校 「初心者のための自転車講座」 緑分館

環境にやさしい、健康に良い等の理由から、自転車に乗る人が増えています。

昔から私たちの最も身近な乗り物である自転車ですが、日常の足として使っているだけで、知らないことも多いのではないのでしょうか。

自転車に全く乗れない人も、これからスポーツバイクに乗ろうと思っている人も、自転車の魅力と自転車を取り巻く身近な問題等について学びましょう。



回	日程	内容
1	3/9(土)	なぜ、いま自転車なのか！ —自転車の魅力と課題を多角的に探る
2	3/16(土)	初心者のための自転車の正しい乗り方と 自転車健康法・メンテナンス術
3	3/23(土)	自転車は「車」の仲間です —安全に走るために知っておきたい自転車に関する法律とその問題点等

時間はいずれも午前10時～正午(全3回)

ところ 公民館緑分館
講師 小林成基さん(NPO自転車活用推進研究会理事長)ほか
対象 市内在住・在勤・在学の方
定員 50人(申込順)
申込 2月18日(月)午前9時から、電話、FAX、または直接、公民館緑分館(☎042-383-1170 FAX 042-387-7300)へ。

募集

子どもの人権講座準備会 本館

子どもの権利制度、遊び、子育て・子育て支援、学校、発達支援、健康などさまざまな問題を取りあげています。講座づくりに皆さんのご意見をお聞かせください。

とき 2月12日(火)
午後3時30分～5時

ところ 公民館本館生活室
申込 不要：直接会場へ。

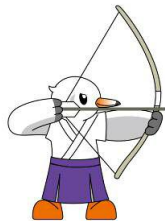


- まちの話題を紙面づくりに反映してほしい!
 - インタビューや紙面づくりが大好き!
 - このまちのことが知りたい!
 - よくわからないけど、なんだか楽しそう!
- 皆様の参加をお待ちしています。
 詳細は公民館本館(☎042-383-1184)まで。

募集

スポーツ祭東京PRイベント 「初めての美術ワークショップ」 本館

- と き** 2月24日(日)午後2時～4時
と ころ 公民館本館視聴覚室(福社会館4階)
講 師 土屋麻悠子さん(アーティスト)
内 容 段ボール、紙粘土……が作品に変身!!
～スポーツ祭東京2013のキャラクター
「ゆりーと」をモチーフにして。
対 象 小学校3年生以上
定 員 15人(申込順)
参加費 500円(材料代)
申 込 2月1日(金)から、電話または直接、公民館
本館(☎042-383-1184)へ。



サークル紹介

「財政講座の集い」

東分館



- 私たちは、昨年度の公民館の「我がまちの財政講座」を受講する市民有志で発足したサークルです。
ゴミ・市庁舎・駅前ホール……問題山積の小金井ですが、自治体財政という面から小金井市のこれからを考えていきたいと思っています。
財政講座受講者に限らず、小金井の財政に関心をもつどなたでもご参加を歓迎します。月1回、ざっくばらんな意見交換や、勉強会の開催などの活動をしています。
この集いが、私たちが暮らす小金井の財政に関心をもつきっかけとなれば幸いです。
皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。
活動日時 毎月第4土曜日 午前10時～正午
会 場 公民館東分館
内 容 財政についての報告、意見交換、勉強会の開催など
参加費 無料
直接会場へお越しください。

募集

市民講座「人と地域を支え合う ネットワークづくり」本館

地震対策(立川断層と東京湾との関係)、世代間交流、いじめなどの問題を考えます。



- と き** 2月14日～3月7日
いずれも木曜日、午後1時30分～3時30分(全4回)
と ころ 公民館本館
対 象 市内在住・在勤・在学の方
定 員 60人(申込順)
申 込 2月4日から、電話または直接、公民館本館
(☎042-383-1184)へ。

自主グループ化を目指して

～東分館高齢者学級「木曜会」
世話人 小暮浩彦さんにお聞きしました

先日は、本館主催講座「公民館事業をつくろう」のなかで、「高齢者の学び最前線」と題して、講演していただいたそうですね。

小暮: はい、冒頭、活動の背景としての小金井市公民館の歴史についてお話ししました。

1949年に社会教育法ができて公民館がつくられてくるわけですが、小金井市公民館は1953年に開設されおります。しかし、それに先立って、この地には青年団活動と婦人会の活動がありました。

まだ、半農的な小金井でしたが奉仕と社会教育の伝統が脈々と流れていました。

これが現在の公民館活動の底流にあると思います。

プログラムをみますと「木曜会」の講座の内容は、実に多彩ですね。

小暮: 公民館は、身近であり経済的で、しかも親睦交流の場になる、そういうところですよ。

内容としては、学び系、芸能系、娯楽系と皆さんに満足していただける講座をめざしています。

その他、力を入れていることは?



小暮: 意識的に野外研修に力を入れています。人と人が親しくなるのに、もっともいいと思っているからです。

それと、「お役に立つ」ことをどう取り入れるのか。歳を重ねると、自然に「ひとに恩返しをしたい」という気持ちが強くなるんですね。多摩島しょ助成金をいただきまして、今、自ら会費も決めなくてはいけません。

外部の偉い先生をお呼びするだけでなく、自らが語り部となる、例えば戦争体験を語り合う……そういう学ぼうスタイルもこれからは大切にしなければと考えております。

◆ 2月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆子どもの人権準備会 ☆市民映画会 市報2月1日号に詳細 ☆シルバー大学 市報2月15日号に詳細	☆男女共同参画事業 「輝ける熟年を過ごすために」 市報2月1日号に詳細			☆成人学校 「初心者のための自転車講座」 市報2月15日号に詳細 ☆国際交流イベント 「VIVA! BRAZIL!!」 市報2月15日号に詳細

成人学校「江戸野菜に親しもう」 「野外学習・三浦半島 三浦大根狩り」 参加者感想 貫井南分館

三浦ダイコンは、首の部分が細くて尻に向かって太くなる「中ぶくら」で、長さ約60cm、重さ約3kg、大きいものは5~8kgに肥大します。

肉質はたいへん緻密で柔らかく、煮物やなます、ツマに向いています。



●前日までの天気予報は、正午か、3時ごろから雨という予報であった。3時まで持ちこたえてもらえればと期待していた。しかし、朝から小雨で本降りにならなければいいかと危ぶみながらの野外学習であった。川崎ICのころから雨はやみ、横浜横須賀道路では、日差しが差す時もあった。バスからの最後の紅葉を楽しみながら城ヶ島へ向かった。親睦はなんといっても、昼食。バスハイクにしては、時間をたっぷり取り楽しい交流が図れるように期待した。そして、三崎港での買い物、大根狩り。昨今は青首大根が多く市販されている。しかし料理によって最適の種類は何だろう。

味わって 始めてわかる 大根のよさ (字余り)
今年、最後の仕事として堆肥づくりの最後の作業が残っている。(M. W)

●海の幸の昼食を終えた私たちは潮風と明るむ畑に到着。並んで繁る葉の下に白い首をのぞかせた大根が迎えます。農園の人に説明を受け三種類を抜きました。三本目の三浦大根は、細い首とは裏腹に中太なので力と要領がいります。笑いと歓声の中一人4キロ余りの収穫でした。夜のとぼりが下りる頃、小金井に戻り、サンタさんよろしく大根袋を抱え帰路につきました。(K. T)

●農園へ向かう道すがら、大根の浜干しの行列、緑のPATCHワークの壮大な畑は日本の原風景で美しいものでした。そして目的地、農園では、三浦大根・サラダ大根・青首大根抜きの体験をしました。見事な三浦大根は3kg以上あり、一度では抜く事が出来ませんでした。この三浦半島で大切に野菜が育てられ、私達の食生活を守っている事をつくづく感じました。(K. N)

●農園へ到着し、農園の係員から手袋とビニール袋を渡されました。

だいこん畑へ着くと、大根掘りの要領について説明された。「できるだけだいこんは、土の上に出ていて太いものがいいですよ」そして「ゆっくり力を入れながら抜くようにして下さい」、こうしてメンバーはいよいよ「だいこんの三浦掘り」を体験することになったのである。

しかし、だいこんはなかなか抜けようとしません。ついには、あっちからも、こっちからも「抜けません!」、「重い!」とだいこんとの力くらべです。

それでもだいこんがついに負けて、太くてずんぐりとした肌の真白いだいこんが地上へ顔、いや胴かな、いやお尻を出した時は、まさにこれこそが「だいこん三浦掘り」の感激・感動の一言に尽きました。おそらく4~5kg位はあるだろう。「これが三浦だいこんか」、「すごいね!」と感激の声があがる。こうした体験の後で、係員の方は次のように語った。「野菜の中でも、重量野菜のだいこんの栽培は、収穫をはじめ、出荷の仕事として農家にとっては非常にきつい労働でもあった」私もたった一本のだいこんを抜くだけでも、大変なことだと思った。ほんとうに農家の方の仕事は、労働としてはきつい仕事だということが分かりました。身を持って体験した意義は、私にとって大きなものであったと思います。

食を通じて農家への感謝抱れてはならない。(M. K)



編集後記

最近、噴火が心配される富士山ですが、冬になると、晴れの日には小金井からも綺麗に見えますね。市役所第二庁舎や本館のある福祉会館の上層階からもよく見えます。そもそも、なぜ冬になると綺麗に見えるのか調べてみました。

冬は、空気が乾燥して安定し、気流が少なく空気中の妨害物(塵や埃など)が少ないので視界が良好になるためだそうです。星やイルミネーションが綺麗に見えるのも同じですね。

駅前開発も進んでいるので、小金井の富士見マップを新たに作ってみるのも面白そうです。(R)